

▼インターール吸入液 [外]

【重要度】★ 【一般製剤名】クロモグリク酸ナトリウム (U) sodium cromoglicate 【分類】喘息治療薬

【単位】▼20mg/A

【常用量】1回20mg

【用法】1日3～4回、電動式ネブライザーを用いて吸入

【透析患者への投与方法】血中に移行した本剤の尿中未変化体排泄率は高いが、吸収率が低いため減量の必要性はない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (10)

【特徴】ヒスタミン、メサコリンによる気管支収縮抑制作用を有さないにもかかわらず、抗原吸入誘発による気管支収縮を抑制する。気道への直接投与により、确实、少量で効果が期待でき、全身的副作用が少ない。

【主な副作用・毒性】気管支痙攣、PIE 症候群、アナフィラキシー様症状、発疹、刺激感、悪心

【吸収】約14% (1)

【F】経口：1%未満 (11)

【Tmax】2～5min [吸入] (1)

【代謝】代謝を受けない (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 $4.83 \pm 0.66\%$ [吸入] (1) $34 \sim 53\%$ [iv] (1) 糞便中に未変化体として $32 \sim 38\%$ 回収 [iv] (1) 代謝されずに50%が尿中に、50%が糞便中に排泄される (11) 吸入時には87%が糞便中排泄 (11) 【CL】 $7.9 \pm 0.9 \text{ mL/min/kg}$ [iv] (1) 腎 $\text{CL} = 3.6 \text{ mL/min/kg}$ [iv] (1)

【半減期】1～1.5hr (11) 13.5 min [iv] (1)

【蛋白結合率】57～69% (11)

【Vd】 $0.32 \pm 0.06 \text{ L/kg}$ [iv] (1,11)

【MW】512.33

【透析性】資料なし (1) ある程度は透析されると思われる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない【薬物動態】運動誘発喘息 (EIA) において、抑制効果は血漿濃度に伴って増加し、約 4 ng/mL 以上の濃度で最高値 (66% 抑制) を示した (1) 【pKa】2.2 (1)

【効果持続時間】6時間以上 (1)

【更新日】20150825

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。